

令和3年度 第2期第1回美瑛町共有ビジョンまちづくりワークショップ 議事録

日時：令和3年11月29日（月）
午後6時から午後9時まで
場所：美瑛町役場4階委員会室

参加者

- ・町民13名 町外3名 職員9名 計25名
- ・(有)イーズ 枝廣氏 他1名
- ・まちづくり推進課職員3名

1 開 会

2 町長あいさつ

3 ワークショップ

(1) 一言チェックイン

- ・簡単な自己紹介とワークショップに対する意気込みを一人ひとりが発表する。

(2) これまでの経緯について（枝廣講師より）

- ・第1期ワークショップで決定した7つの共有ビジョンの紹介。
- ・共有ビジョンを作る必要性・重要性。
- ・ビジョンを作ることは「ゴール」ではなく「スタート」である。
- ・他自治体の共有ビジョンの事例紹介。

(3) 本日のワークショップの説明（枝廣講師より）

- ・第1期で決定した7つのビジョンを1つずつ取り上げ、5グループに分かれて以下のステップに沿ってポストイット方式で実施する。

ビジョン1：豊かな美しい景観が、農業と観光の懸け橋となるまち

- ・世界に誇る「丘のまちびえい」を守り、地域資源が農業と観光の新たな価値を生み、あらゆる産業の相乗効果を高めるまち

目 的：①進捗を測る指標づくり ②具体的な取り組みの案づくり

ステップ1：ビジョンが実現しているようすの具体的な描写をいくつも考える。

20年後の美瑛町を見据えて、想像力を働かせながら、町外者や子供など様々な立場・角度から考える。

ステップ2：ビジョンが実現した際に、増えているもの、減っているものを考え、指標（ものさし）案をつくる。

ステップ3：その実現につながるプロジェクトや取り組みのアイデアを幅広く出す。

- ・グループごとのポストイットの内容を、グループごとに説明要員を置き共有する場を設け、議論の結果を発表する。

(4) 一言チェックアウト

- ・本日のワークショップを振り返り、一人一言感想を発表する。

4 その他

- ・次回は12月7日（火）に開催予定。
- ・参加者の周りの方に本ワークショップの取り組みを積極的に周知していただき、多くの町民の方にワークショップに参加していただきたいと考えている。

5 閉会